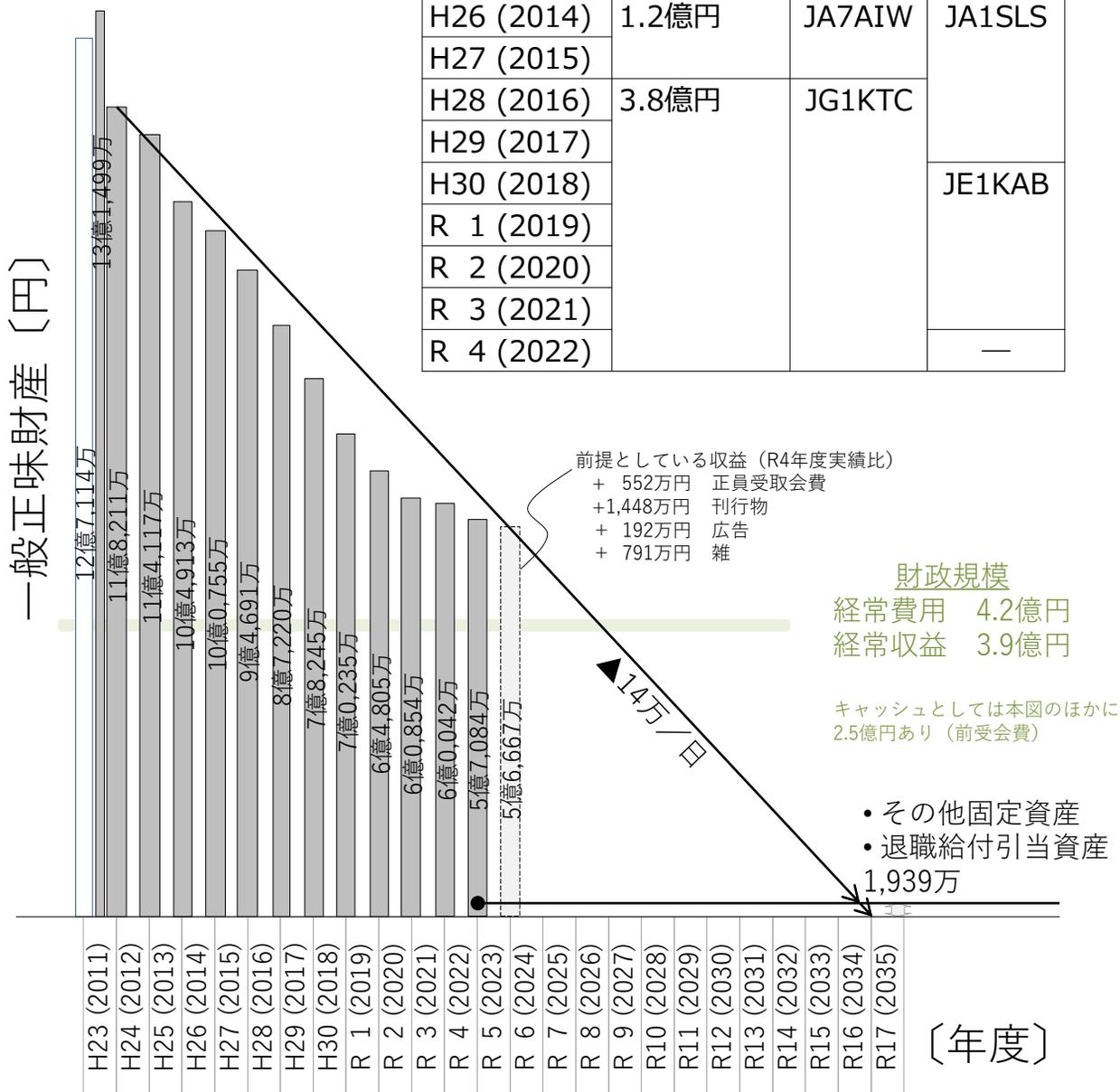


A. 『決算』について

【A.1】 現会長下での3.8億円の損失

現会長下で、連盟の財産を3.8億円も失ったことにつき、認識を確認したい。

| 年度 | 損失額 | 会長 | 専務理事 |
|------------|---------|--------|--------|
| H23 (2011) | 8,903万円 | | |
| H24 (2012) | 1.3億円 | JA5MG | JE1KAB |
| H25 (2013) | | | |
| H26 (2014) | 1.2億円 | JA7AIW | JA1SLS |
| H27 (2015) | | | |
| H28 (2016) | 3.8億円 | JG1KTC | JE1KAB |
| H29 (2017) | | | |
| H30 (2018) | | | |
| R 1 (2019) | | | |
| R 2 (2020) | | | |
| R 3 (2021) | | | |
| R 4 (2022) | | | — |



一般社団法人化後の『一般正味財産』の推移

B. 『地方本部長選挙にかかる規則改正の件』について [すべて意見]

【B.1】賛成：「地方本部内の正員の意思を、地方本部外の社員が否定」の解消に有効

「特定の地方本部内の選挙の結果を、他のエリアの社員が否定する」という理不尽の解消に繋がれることから、賛成である。

【B.2】賛成：「落選した側が地方本部長」の解消に有効

ことに「選挙で負けた側が、（理事ではない）地方本部長になる」というのは、およそ常軌を逸した組織運営ではないか。

そのような奇怪な事象（過去2例）の解消に繋がることから、賛成である。

【B.3】さらなる抜本的制度改正を

そもそも理事への選任が否決されるようであれば、「会員は何のために理事候補者選で投票しているのか」を問われかねない。よって、さらなる抜本的な制度改正を期待する。

12年間にわたる組織の実運営を反映し、

- 描いていた設計 と
- 実際の運用

とが相容れていない部分については、見直すべきである。

過去、選任が否決された理事候補者

| 選挙の年 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 | 2022 |
|-----------|----------------------------|------------------------------|------|------|----------------------------|--------|
| 全国枠 | JA1ELY | JA1ELY | | | JG2GFX JH3GXF | |
| 地方本部 枠 | JR4OZR JA5SUD JA8FXG | JA2GXU JG3CCD (翌年の繰上時) | | | JH1XUP JA2HDE JR3QHQ | |
| 推薦枠 | | | | | | JE1KAB |

本提案の改正で救済される範囲。
すくなくとも地方本部長には就任。

【B.4】年齢制限・重任制限の復活を

かつての「覚書事項」こと、一般社団法人発足時の年齢制限・重任制限について、執行部に問題がある今こそ、改めて議論し、運用すべきではないか。

なお曖昧な“覚書”でなく、「選挙規程」「規則」「定款」に明記し、かつ容易に変更できない条項とすることを希望する。

C. 『高尾理事解任』について

【C.1】 以下も申し添える [意見]

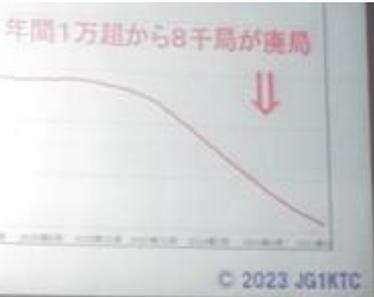
①組織運営上の問題

- a. QSLビューローを勝手に表彰（表彰規程違反）.
- b. 独断・独裁
 - ・会員期間延長で計¥20Mの収入減（損失）
 - ・親善大使制度・総務省への要望ほか にみる，理事会の無視
 - ・社員JA1MUY（会長の有報酬化を訴求）に委任状41通を集中させ，結果，理事候補者5名が非選任に
 - ・感情的な理由をもとに，社員35名に，JR3QHQの解任を提案させる
 - ・KANHAMへの助成金の急遽取りやめ
- c. 以下の帳簿開示の結果について，謝罪・反省なし
 - ・計 160万円/年・2～3日に1回の，“打合せ” （年会費 222名分に相当）
 - ・計 250万円/年の旅費（水戸ごときでも一泊） （年会費 347名分に相当）
- d. JA1ANの訃報の展開おくれ
副会長JG2GFXからの情報・hamlife.jpの情報 のほうが早かった.
- e. 非選任されるような推薦理事を称え提案（JE1KAB；社員（会員）の意向を理解できず）

②アマチュアとしてのスキル不足

- a. 3月の制度改正結果の内容について，自らの口で説明できていない.
- b. 第一級アマチュア無線技士を取得しようとしないう。
〈組織内/外での対話上，知識は不可欠。〉
- c. 「モールス符号をユネスコの無形文化遺産へ」と唱えつつも，電信を運用しない.

③一般的常識の不足

| | |
|---|--|
| <p>a. 国家公務員への贈賄未遂 三浦電波監視センターに，ビール券を 残置</p> | <p>b. 「著作権の問題があるから，録画・録音禁止」 〔東京都支部大会ご講演〕</p> <p>→著作権の問題があるスライドなら， そもそも講演で使用不可.</p> |
| <p>c. 英語力が中学生未満 〈“アマチュアは国際的でなければ ならない”〉</p> <p>41th The Expedition Day !</p> <p>誤) 41th 正) 41st</p> <p>〔http://www.out-door.jp/p-day-info.html ほかCQ誌でも，計3号において同様〕</p> | <p>d. 統計の読解力不足 〔東京都支部大会ご講演〕</p>  <p>誤) が廃局 正) の減少</p> <p>「開設」と「廃止」 との「差分」の値.</p> <p>cf. 2022年度の値： ・開設 22,963局 ・廃止 30,855局 ただしコールサインの変更も含む.</p> |

(C.1のつづき)

④道義上の問題

〈「進んで公平性に配慮する・こういう行為をしない」ことを期待〉

- a. 選挙期間中に、CQ誌に自身のカラー記事4ページの掲載
- b. 自身の出向いた8J1JOTAのみJARL NEWSで広報；
8J2JOTA・8J3JOTAには触れず
- c. 選挙直前に、冊子版JARL NEWSを、自身名義で郵送配布（冊子版非契約の会員あて）
- d. JA1LVBの推薦理事化の撤回；
および、それに関する社員総会での虚偽答弁
- e. 自腹にみせかけての、連盟からの支出
（例：お祝金、飲食物の差し入れ）
- f. 自身のインターネットでの情報発信における誇張
 - i. 第27回 移動運用セミナーへの、連盟の「共催」
→実際は理事会での決議を経ていない。
会員増強組織強化委員会としての（自作自演での、名義の使用上正しくない）共催。
 - ii. 「諸規定の見直しを行い、今の時代に合った内容に整備しました。」
→理事会での審議なし（決議がなければ改正不可）。
実際は、簡単な箇所の事務局との打合せのみ。

⑤品格の問題

- a. 「JARL = ジャンケンアマチュア無線連盟」化
〈「海外からの賓客を差し置いてジャンケン大会」ではなく、
膝詰めで、山積の諸課題についてお互い話し合っていたきたい。〉

【C.2】#65理事会における、会長解職議案の上程経緯の説明を

第65回理事会における第12号議案「高尾義則理事を会長（代表理事）から解職する件」が上程に至った経緯について、説明をお願いしたい。

【C.3】以下を始めとする二重取り*について、本人としては連盟への返金の意思はあるか？

*：参加者間で割り勘にしたにもかかわらず、領収書を、全額を連盟に請求（詐欺）。

計 74,309円
割り勘が確認できている額
（税込、以下同）



計 152,046円
それらが含まれ、一括で精算されている額



D. 『田中理事解任』について

一部について質問する。以下に取り上げる事項以外を肯定するものではない。

【D.1】③誓約書の拒否について、提出は任意と決せられたのではなかったか？

そもそも理事会での議論を経て、「提出は任意」と決せられている。

「任意のものを強要する」のであれば、その方が、組織運営として不合理ではないか。

誓約書については任意での提出とすることとして了承された。
〔#62 理事会報告〕

【D.2】④R2年度総会での理事選任否決について、「71名の反対」ではなく「大半は委任」ではなかったか？

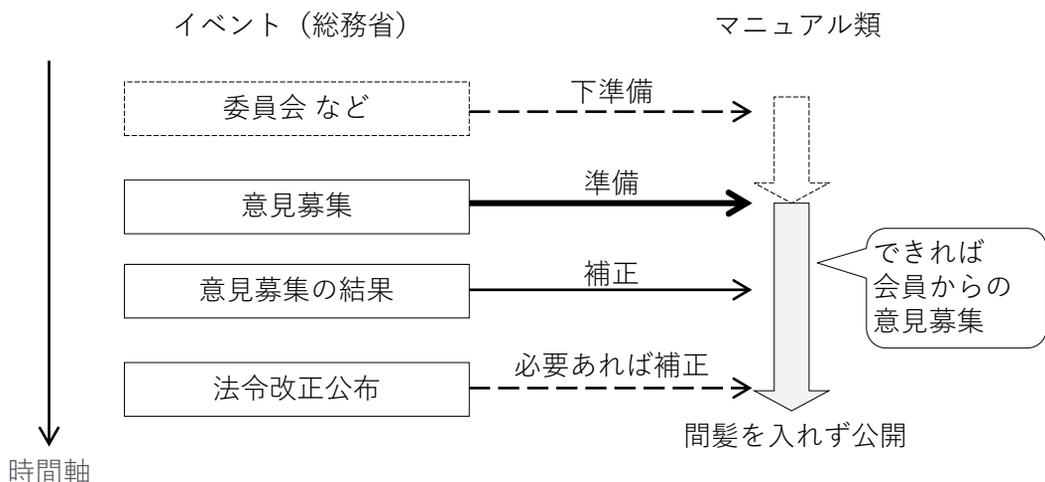
「71名もの多くの反対により」とあるが、以下のとおり理解している：

- a. 71名の社員のうちの大半は、「反対」ではなく、「委任」であった。
- b. 委任者ではなく、会長が先導した受任者である、とくにJA1MUY（41名分）の個人の意思で、「反対」として投じられた。

【D.3】⑤体験運用マニュアルの納期の約束の有/無について、いずれにせよ「制度改正に間に合わせられなかった」点は、落ち度ではないか？

以下のとおり理解している：

- a. 約束の有/無は社員の立場では確認できない。
- b. ただしそれは相対的には小さな問題で、「制度改正に間に合わなかった」ことが、連盟としての落ち度である。
常套的には、下図の流れで準備されるべきである。
- c. 「体験局開設の経験が皆無」の尾形理事に作成を任せた、論理的な説明が付かない。
- d. ようやく出されたマニュアルも、内容が薄い。
(ただし、今後の改版・拡充を前提に、急ぎ公開したのであれば、その点は評価。)

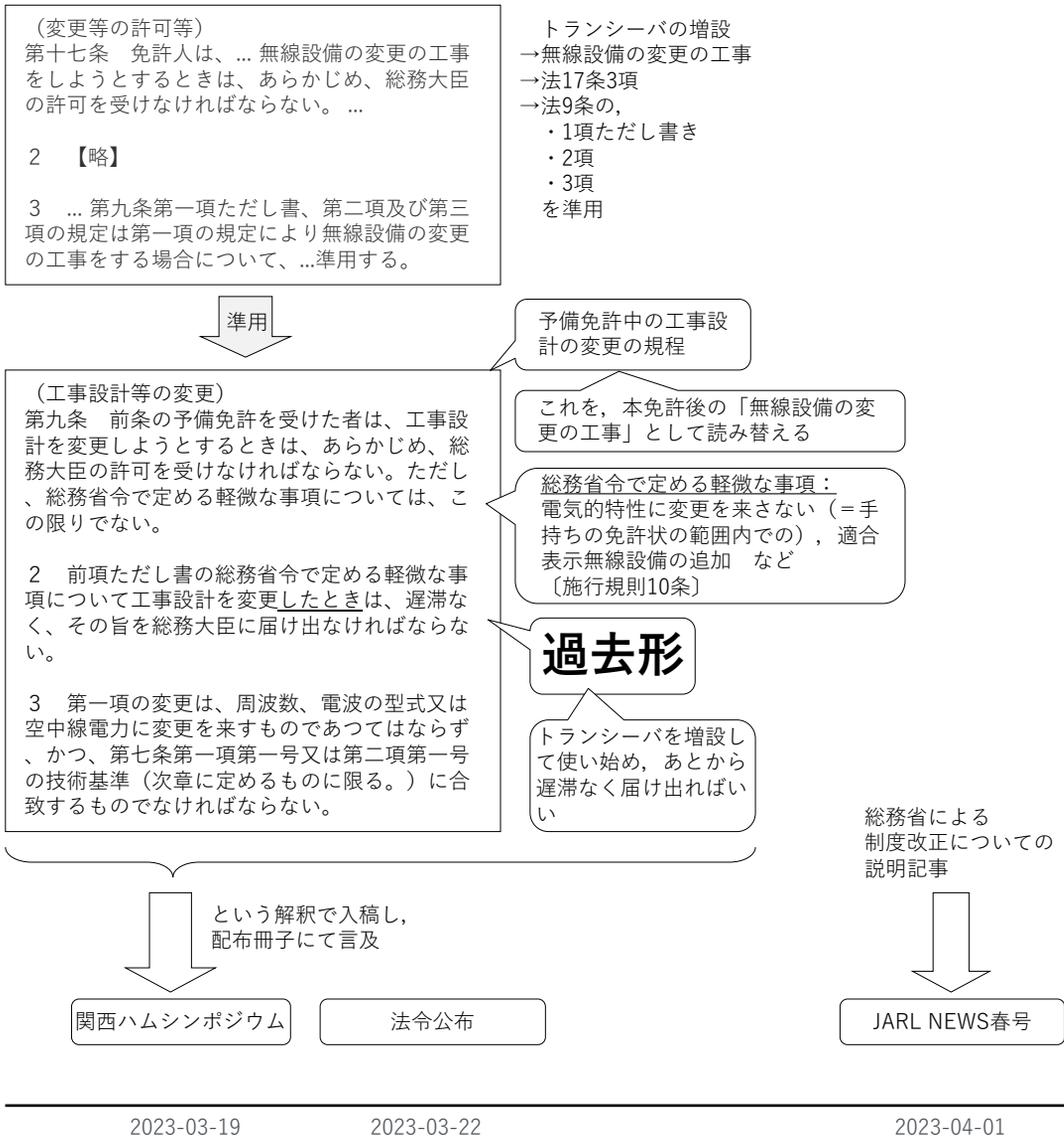


マニュアル類の作成時の、あるべき線表
(プロアクティブな動きを期待)

**【D.4】⑥ “法令違反の助長”について、自己流解釈とも断じがたく・総務省の見解のほう
が後追いではなかったか？**

下図のとおり理解している：

- a. 法令の条文からは，“自己流の解釈”とはあながち断じがたく、むしろ素直な読解である。
- b. 総務省の見解の呈示は後追いであった。
じっさい、総務省が新しい・アマチュアに不利な見解を示すことすらある。
(直近例：VoIPノードの別免許化は、個人局としては、不可。)
- c. 総務省の見解が明示された後は、指摘の“自己流の解釈”は主張していない。



大局的には、「HAMショップでトランシーバを買い足して、即オンエア」のアメリカ並みの制度は、我々の憧れなのであるから、我々自身が過度に萎縮することはないし、その希求をあきらめてはいけない。

E. 『事業報告』について

【E.1】 「1. 会員拡充への取り組み」に関し、2021年末の台帳整備において、郵送物が「宛先不明」で届かなかった正員の扱いについて

「准員に移行させ、引き続き留め置いている」という理解でいいか？

【E.2】 「4.(2)④ 会員在籍表彰」に関し、会費「非」納入のライフメンバーも対象に [意見]

掲題の制度において、ライフメンバーの対象者を「会費納入」で条件化しているが、以下の問題がある：

①制度の趣旨〔引用：令和3年度事業報告p.33〕に照らし、「会費納入の有/無」を条件とした差別は発生しえない。

継続して在籍されアマチュア無線の向上と連盟事業の発展に寄与された会員の方々

②そもそも、ライフメンバーである/なしを問わず、「権利はおなじ」と説明していた（下図）。

ライフメンバーの方々は、選挙権、被選挙権、アワード、コンテスト、ARDF 審判員の資格、各種の事業等に参加するなどの権利は、現行のとおりそのまま継続して受けることができます。

ライフメンバーの権利についての説明
〔JARL NEWS 2013年秋号p.19〕

【E.3】 「6.(1) 青少年による体験」に関し、一部地方における体験局の開設のなさについて

結局、以下の地方においては、連盟による体験局の開設が皆無だったのはなぜか？

（いずれも“JARL会員ファーストの会”の者が地方本部長を務めているものと理解している。）

- ・九州地方本部
- ・東北地方本部
- ・信越地方本部

以下の条件にもかかわらず——である：

- ・体験局用に、新たにFT-991AMを配備
- ・制度期間は3年にもわたる長期：2020年4月～2023年3月
- ・ほかの地方では実施できていた
- ・昨2022年度の本会においても本件を指摘、他の地方本部からノウハウを得るよう提言

【E.4】 「7.⑤ IARU HF Championship」に関し、8N7HQの選定経緯・指導支援内容

8N7HQ（80m Phone担当、2022年）は

- ・わずか86 QSO
- ・世界最下位（IARU Headquarters Stations中）

であった。実際、

- ・大半の時間帯で運用が確認できず、また
- ・信号も弱かった（東京で聞いても呼べる強さに至らない）。

連盟として、どのような根拠で選定し、また指導・支援をおこなっていたのか。

[E.5] 「4.(3) QSL・SWLカードの転送」に関し、転送遅延の発生について（半年会員にとっては届かず詐欺状態）

会長の認識は「所要8か月」である〔東京都支部大会における講演〕。自身の観測でも同様で、「交信日起算で10か月」である。

であるならば、「半年会員の入会の受付を停止」するのが、社会的責任が重視される今の時勢においては、当組織のとるべき振る舞いではないのか？

以下の2点は相容れない行為となっており、これは「連盟のはたらいている詐欺」である：

- ・ 会員サービスとしての「QSLカード転送」の訴求
- ・ 「半年」会員の受付

JARLの会員サービス



JARLの主な会員サービスをご紹介します。

- QSLカード転送
- コンテスト
- Eメール転送サービス
- アワード
- JARL NEWS
- アンテナ第三者賠償責任保険
- メールマガジン
- 雷事故補償保険
- ハムフェア等催事優待
- 会員専用販売品
- 測定サービス
- 門標板 他

半年以内での転送は、いまの実力としては不可

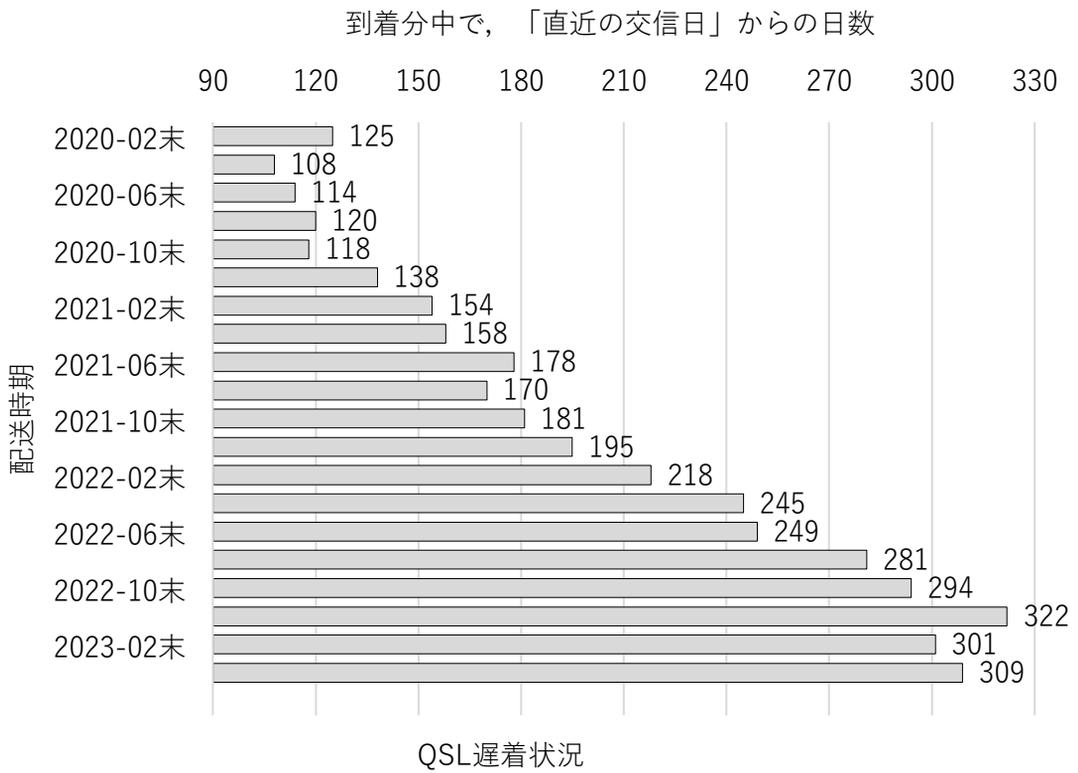
→詐欺

JARL会員の種別と会費

| 会員種別 | 入会金 | 会費(1年) | 会費(3年) | 会費(半年) |
|------|-------|--------|--------|--------|
| 正員 | 1,000 | 7,200 | 20,400 | 3,600 |
| 社団会員 | 1,000 | 10,800 | 30,600 | 5,400 |
| 家族会員 | (なし) | 3,600 | (なし) | 1,800 |
| 准員 | 1,000 | 7,200 | 20,400 | 3,600 |

引用元：
 入会案内
 (枠囲い・矢印などを加筆)

https://www.jarl.org/Japanese/5_Nyukai/nyukai-7.htm

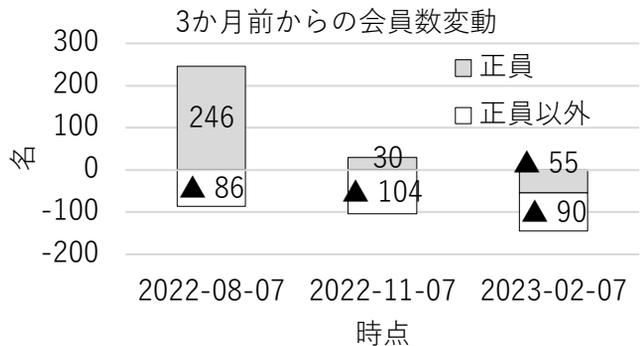


F. 『予算』について

【F.1】「受取会費」の蓋然性について——「正員増 766名」相当

「受取会費」は昨R4年度実績比で441万円の増額となっている。とくに、正員分が552万円であり、これは「正員増 766名」に相当する（7,200円/名として単純計算）。

- ① しかしながら会員数はすでに再減少トレンドに入っていることから（右図）、無謀な予算ではないか？
- ② 第一四半期が終わろうとしているが、すでに192名（766÷4）増えたか？



【F.2】「役員報酬」に関し、予算措置のなさについて

- ① 専務理事を置かないのか？
- ② つまり、「昨R4年度は専務理事が不在でも、滞りなく事業を遂行できた。今R5年度もそれに倣う」ということか？
- ③ 仮に②が真であるならば、もはや「未来永劫に不要」ということにならないか？

【F.3】「QSL費」に関し、転送遅延下にもかかわらず、わずか65万円の増額なのについて

- ① これで転送の遅れを解消できるのか？
- ② 従前訴求の「3か月」に、いつ、戻せるのか？
- ③ もはや、転送遅延の解消にむけ、会員への協力を仰がざるを得ない段階ではないか？

例：

- a. コンテストでの交信での、発送自粛（例：同一バンド・モード・QTH）*.
- b. 複数QSO一括記載による、枚数減.
- c. 電子化

QSL費の推移

| QSL費 | 予算 | 実績 |
|--------|---------|---------|
| 2019年度 | 7,950万円 | 7,569万円 |
| 2020年度 | 7,610万円 | 7,489万円 |
| 2021年度 | 7,597万円 | 7,717万円 |
| 2022年度 | 7,595万円 | 7,700万円 |
| 2023年度 | 7,765万円 | |

+65万円

*：会長自身が、同じバンド・モード・QTHのものを「PSE QSL」で毎回大量に発送し、危機感・問題意識を欠いているのではないか？
（コンテスト・移動運用でアクティブなのは、素晴らしいことではあるが。）

【F.4】「広報活動費」に関し、地方本部・支部・登録クラブの行事への「お祝金」は一斉に廃止すべきではないか？（行事の開催側も、あらかじめ辞退すべきではないか？）

以下の理由による：

- ① 財政的に潤っている団体ではない（R4年度実績：支出計19件・19万円）。
- ② 本費目の主目的たる、組織「外」への訴求効果がない。
- ③ 会長を呼んだ、一部の地方本部・支部・登録クラブだけを利する。
- ④ 支部は54あり、登録クラブはまして膨大；いちいち対応していたら、さらに出費増。
- ⑤ 別途、地方本部費・支部費が公的に渡されている（+1万円するのならばその増額で）。
- ⑥ 受領側の用途が不明確になりがち（正しくは「雑収入」扱い？）。
- ⑦ 連盟からの支出にもかかわらず、「会長の自腹」との誤解を誘発。

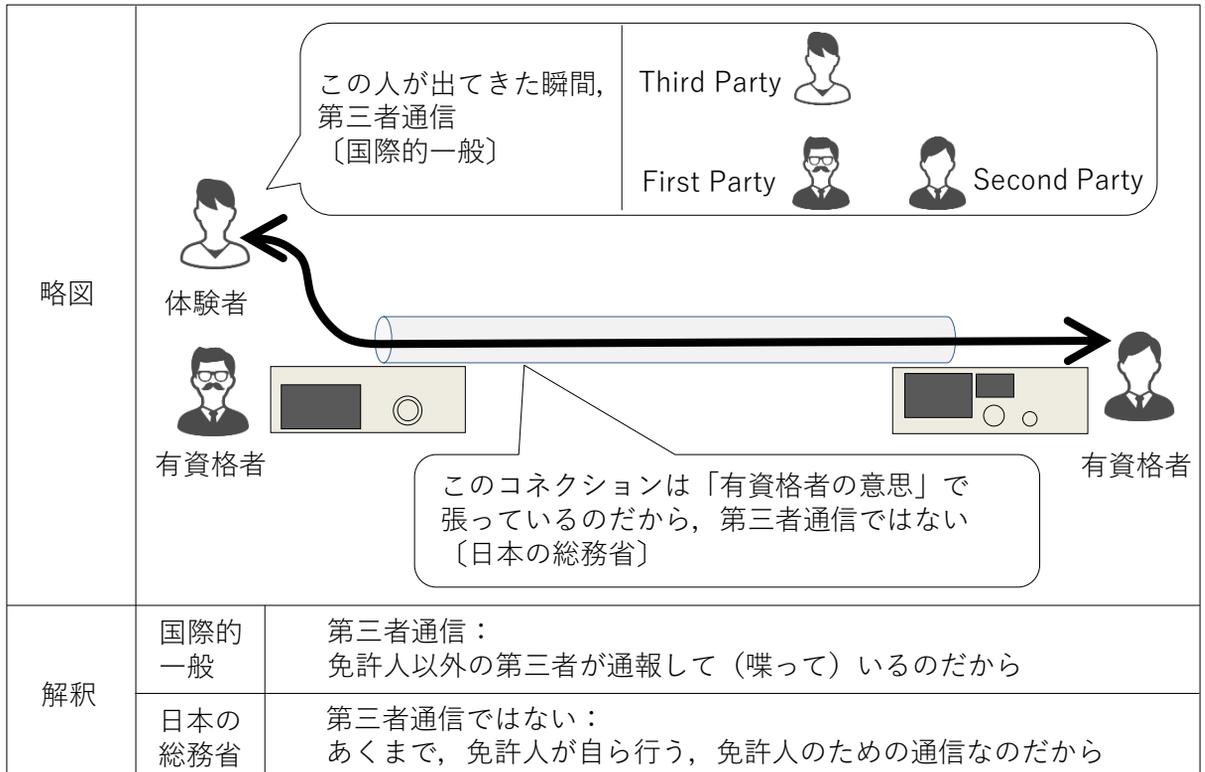
G. 『事業計画』について

【G.1】 「2.(12)および(15) 総務省への要望」 に関し、「第三者通信」の解釈を国際的一般のものに（対総務省交渉）

「第三者通信」の解釈が、国際的一般と本邦総務省とで齟齬がある。すなわち、「体験者」を、第三者とみなすか（国際的一般）／みなさないか（本邦総務省）である。

アマチュア無線のことは直接携わる我々のほうが判っているのだから、解釈の見直しを総務省に進言し、制度の明確化を図るべきではないか？

「第三者通信」の解釈の整理



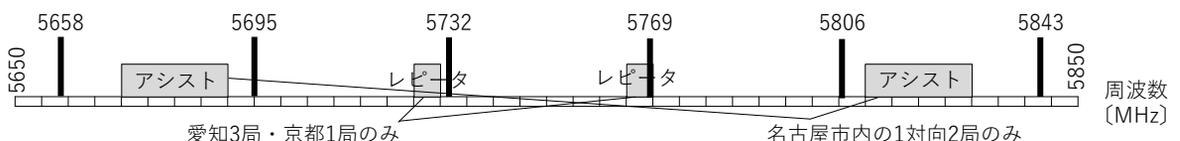
ピクト提供：https://icooon-mono.com/

【G.2】 「2.(12)および(15) 総務省への要望」 に関し、5.6GHz帯レピータバンドのドローンへの開放を（対総務省交渉）

実態として、京都・愛知2府県の計6局だけのために、計50MHz幅もの帯域を、全国一律に排他している（9月施行予定の新告示）。

よって、ワイヤレス人材・ドローン人材の育成の観点からは、同バンドの実需の中心たるドローンの共用を許すべきではないか？

とくに欧米では、“Raceband”として、下図に示す6チャンネルが用いられている（くわえて日本のアマチュアバンド外で5,880・5,917MHz）。本案はそれらの使用・国際調和に道を拓くものである。



ドローンのRacebandのチャンネル（中心周波数）

【G.3】 「2.(12)および(15) 総務省への要望」 に関し、「旧スプリアス規格機」の使用可能期間の無期限化を（対総務省交渉）

COVID-19対策として、使用期限が「当分の間」に延長されてきた。しかしその収束（終息）を踏まえれば、近々この措置が取り消される可能性は高い。

そこで、以下により「現状のまま継続使用可」を求めて交渉すべではないか？

- ① 現状、旧規格機でも、他局に対し実害を及ぼしていない。
- ② 再開後の保証事業者の処理能力への懸念。
 いわば、「使用期限の1年4か月前に、“時計を止めた”」状態である。
 一方、旧スプリアス規格の局は、18.8万局残存（2021年4月末時点）
 [https://www.soumu.go.jp/main_content/000754323.pdf] .
 かりに「のこり1年4か月」で期限が再設定されても、捌ききれない（388局/日）。
- ③ 2016年からのスプリアス確認保証の実運用を通じ、「積極的に切り替える意思 小」が、実態として読み取れた。
- ④ アマチュア局のさらなる減少を招きかねない。
 おそらく旧規格機ユーザ（古くに開局した高齢者）が、いまの免許人の中心層。
- ⑤ 諸外国のアマチュア局において、このような切替措置を聞いたことがない。

旧スプリアス規格機（確認保証 無）についての、期限の変遷

| 施行 | 2005-12-01 | 2007-09-03 | 2021-08-03 |
|-------|-------------|--------------------|------------|
| 免許・変更 | ～2007-11-30 | ～2017-11-30 に延長 | |
| 使用 | ～2022-11-30 | 同左 | ～当分の間に延長 |

【G.4】 「2.(12)および(15) 総務省への要望」 に関し、いわゆる“自局内通信”の許容を（対総務省交渉）

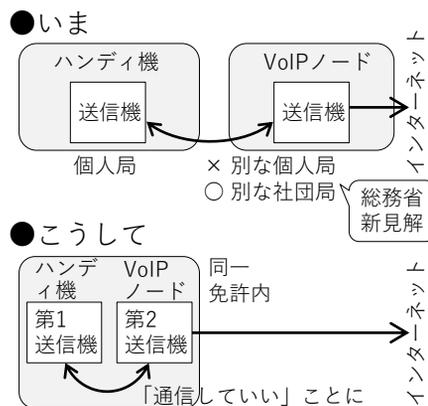
3月の制度改正の意見募集後の「総務省の考え方」を通じて、たとえば自身の開設するVoIPノードは「別免許でも、個人局では不可」との新見解が明示された（一因：同一コールサイン相互の通信は想定外）。

そもそもこのような制約は、VoIPを始めとする新時代のアプリケーションには、そぐわない。

よって根本的解決策として、自局内の通信（右図）を認めるよう、要求すべきではないか？

解釈の見直しだけですみ、また、行政負荷も下げられる（ノード局としての社団局の開設が不要に）。

諸外国において、「VoIPノード用に免許を分ける・社団局を開設する」などの措置は、耳にしたことがない。



自局内通信化の略解

H. 過去の社員総会での提起事項 [意見]

以降の表に、これまでの準備書面で出された意見をまとめる。これらはけっして、「専務理事が流して答えて解決済み」というわけではない。

凡例

- 左欄…分類
- 右欄…内容
- []…提案者のサフィックス、および、提案年の西暦下二桁
- 《》…その後の状況変化

社員総会提起事項

| 財政 (1/2) | | |
|----------|--|---|
| 大枠 | <ul style="list-style-type: none"> 資料中の作表法：前年度「実績」と今年度予算との対比で [GXU14・EEH19] 貸貸対照表・財務諸表の、分析・検証のありかた [DFJ20] 費目の分離を：社団局会費・8Jなどの局・転送手数料 [KCW21] | |
| 財政健全化 | 赤字解消 | <ul style="list-style-type: none"> 赤字解消に向けての見通し／今後の展望（破綻しかねず）／財産が減少、運営に心せよ [HBF20・HCL20・LFV15・OEP15] 経営安定化・黒字化 [AAA16・ANO19・BCE16・IKD17・JOK16・LFV17・MYB16・PHW22・QZN16・WTL16] 収支改善策 [XKH21] 改善策（赤字の理由・補填策の総会での承認を） [MYB20] 方策（健全財政計画） [EEH21・HBF20・HBF21] 解消の能力の開陳（無借金が健全経営？） [HBF20・HBF21・HBF22] 破綻しない理由 [LXU22] 収入の規模に見合った予算策定 [AAA18・EEH22] 収益事業の模索を [EUJ19] |
| | 経営責任 | <ul style="list-style-type: none"> 会長・専務理事の経営責任の明確化 [DFJ20] 株式会社でも一般社団法人でも、ともに赤字なら破綻（会長は両者は「性格が違う」と訴求） [WTL20] ライフメンバー制度移行の効果検証（経営は非改善） [JOK17] 「ライフメンバー化で黒字化」（専務理事・当時）のはずが、結果として未達 [IKD20] |
| | 予実管理 | <ul style="list-style-type: none"> 予実管理の甘さ [DFJ20・HBF20・IKD20] 入会者数の予算未達の原因精査（見積が甘い） [EUJ20] 会員増の見通し（総枠としての予算・実績管理を） [WTL20] |
| | 中期施策 | <ul style="list-style-type: none"> 中期経営計画の策定 [DFJ20・HHN18・IJY21・WTL20・XKH22] 財政健全化の目標年・黒字化計画の呈示 [IKD18・IKD21・JOK17・RVM21] 財政改善の目標値 [EEH20] 経営専門委員会（CEO）・中期計画検討委員会の設置 [QZN16・VQA16] コンサル指導受（含 要/否の検証） [DFJ20・DSN21] |
| 地方本部・支部 | <ul style="list-style-type: none"> 「地方本部」の決算報告を [RTS15] 地方本部費・支部費の管理の適正化（赤字解消への寄与） [FVX16・OJO17] 地方本部間の格差是正；会員一人あたりでみた支部費の格差～適正な格差範囲 [LWP12・WTL15] 支部費の傾斜配分：事業計画見合いで [CBH22] | |

| 財政 (2/2) | | |
|----------|-----------|--|
| 会費 | 増額 | <ul style="list-style-type: none"> • QSL：発送費用増・消費増税[HGY15] |
| | 減額（割引） | <ul style="list-style-type: none"> • 社団局会費（個人局との二重取り／登録クラブは日々貢献大）[CTE16・DSN16・DOR18・EEH20・HHN16・JIX20・PFW15・PFW16・THO19・WTL15] • 社団局会費（登録クラブの）[KCW21・PFW18・WTL18] • 社団局会費（支部直轄の）[NC18・WTL16] • 社団局会費（記念局の）[KCW21] • 社団局会費（指定変更で記念局に化けている間の母体側の）[KCW21] • 社団局会費（個人会員とのQSL転送数の比較）[KCW21] • 学校クラブの支援[HHN18] • 青少年会費：助成金ではなく、会費メニュー化[BFA12・FFN16・WTL15・WTL16] • 学生（無償化または入会時一定額負担）[HHN18]《キャンペーンあり》 • 障害者[OEP12] • 家族[DOR14] • 長期（「5年」メニューの新設～会員繋ぎ留め）[OED18・WTL16] • QSL転送料：記念局・体験局の（開設期間比例に）[HYT20・MUY20・MUY21] • 会員数増ねらいで[CTE16] |
| 収益増施策 | 収益事業 | <ul style="list-style-type: none"> • 検討・実施（受験対策，申請代行）[IOT18・JOK17] • 養成課程講習会[IOT17・IOT18・PFW16] |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> • QSL：専用の袋・箱による受付で従量化（会費からの充分分は「転送基本料」扱い，ライフメンバーは同納付済みで優遇）[MUY20・MUY21・MUY22] • 非会員の有料化・差額増（連盟行事参加料・D-STAR管理サーバ・アワード申請料・物販）[MUY20・MUY21] • 物販価格の適正化[MUY21] |
| 支出「増」関連 | | <ul style="list-style-type: none"> • 職員のベースアップ（前回の消費増税で実質減給）[WTL15] |
| 支出「減」関連 | JARL NEWS | <ul style="list-style-type: none"> • アウトソース化[IOT17] • 紙版の有料化[HHN18・WDL18] • 「複数@同一世帯」の解消（郵送費の削減）[EUJ20] • 電子版の推進：紙版のコスト減（および省資源化）[BIB22・HYT20・XKH22] • 監修誌との重複解消でコストダウン[XKH21] |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> • 行事の地方本部・複数支部合同化[MUY21] • 『補助局』の廃止[WTL15] • （シルバー）人材の活用（例：事務局業務のアウトソース化）[IOT18] • JARL Webでの，支部行事の支部Webへの単純リンク化（事務局の負荷軽減～費用削減）[WTL15] |

| 組織運営 (1/2) | | |
|----------------|----------------------|---|
| 組織 その もの | 大義 | <ul style="list-style-type: none"> ・将来性・存在意義^[CTE16] ・事業・運営の目的～事例反省～課題方向性^[DND20] |
| | あり 方 | <ul style="list-style-type: none"> ・JARDとの統合^[IKD17・IKD18・WTL16] ・ライセンスフリー愛好家との統合：「日本無線連盟」^[CCD19] |
| 運営法 | | <ul style="list-style-type: none"> ・JARDとの連携（JARDは第三者通信・社会貢献制度・免許制度で提言）^[HBF19] 《体験局制度・デジタルモードの手続き簡素化の導入》 ・「後進の指導にリタイヤ者の活用」の具体的内容^[PHW20] ・顧問弁護士は会員ファーストで（会長・専務理事の個人的な弁護士にあらず）^[HBF20] ・私物化・利権化しない運営^[CTE16] ・批判の受容を：事実隠蔽・言論弾圧・批判的な役員の排斥はだめ^[ANO22] ・会員からの意見募集を^[IKD20] ・話し合いを（怪文書ではなく・総会以外の場でも）^[BIB22・CBH21・DSN20・FFN22] |
| 会員管理 | | <ul style="list-style-type: none"> ・コールが非会員に再割り当て（『局名録』vs 実在で相違のリスク）^[WDL20・WTL20] ・SK時の扱い（身寄りなく確認ハガキへの返信がない会員）^[WDL20] ・准員ライフメンバーの再整理（退会措置）を^[BIB22・CBH22] |
| 個人 情報 保護 | 一般 | <ul style="list-style-type: none"> ・GDPR対応^[PHW20] ・QSLカード記載の住所の転用禁止（例：政党広報誌の送付）^[EUJ17] |
| | 局名録 | <ul style="list-style-type: none"> ・「総務省公表範囲＋本人承諾の強化」で、従来程度^[RNL20] ・あり方の見直し（個人情報保護の最新の動向に沿わせ）^[PHW20] ・転売対策（禁止の明記）^[EUJ17・EUJ19・OEP17] ・回収策^[OEP17] |
| | ハムフェ アのガイ ドブック | <ul style="list-style-type: none"> ・住所・電話番号の記載の見直し^[BIB22] |
| 規定整備 | | <ul style="list-style-type: none"> ・『電波法関係審査基準』のアマチュア無線関連部分の配布^[WTL16] ・局免切れ社団会員の扱い^[KCW21] ・慶弔費^[PHW22] ・「記念局で入会→一般社団局に切り替え」時の扱い^[KCW21] ・地方本部長・支部長空席時の臨時規定（クラブ規定上）^[KCW21] |

| 組織運営 (2/2) | | |
|------------|------|--|
| 支部 | あり方 | <ul style="list-style-type: none"> • あるべき姿（財政健全化とは分離した議論の上で）[OJO16] • エリア支部への移行：現在の支部体制になった1973(S48)年と会員規模が類似（1974(S49)年が5.8万会員）／支部長立候補なし8支部《2020年は福井のみ》／宮崎は支部長空席1年以上《解消》／空知留萌は全国唯一Webなし《2017年5月開設》／予算・活動を縮小の支部も[ARW15・ARW16・WFM13・WTL15] |
| | 支部大会 | <ul style="list-style-type: none"> • 意見交換を[HHN16] • 決算・予算の報告を[HHN16・HHN18] • 費用面から「会長は毎年呼ばない」配慮も要（祝辞・リモートなどで代替）[CBH22] • 「景品での集客」は疑問[HHN18] |
| | 役員人材 | <ul style="list-style-type: none"> • 今後の支部長の不在化対策（組織改革：高齢化対応）[ARW18・ARW22] • 役員名の、「規程」と「実態」との整合：規程上は支部長・監査指導委員長・運営委員のみ[JNA22] • 支部長指名の“イエスマン”の跋扈，連盟役員の人事介入疑惑，登録クラブ輩出限定[WTL22] • 名ばかり役員の排除：会員～役員で連絡できる体制[HHN19] • 社員・支部長の役割のガイドライン化（社員が支部運営に介入）[DSN20] |
| 委員会 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> • 議事録の開示[RTS17・RTS18・RTS19] • 専門委員会の窓口設定[DSN17] • 委員の推薦基準明確化・公募化[EUJ18] |
| | 監査指導 | <ul style="list-style-type: none"> • あり方：全国共通の監査指導（監査指導業務は定款上も定めあり，実態はガイダンス局の運用のみ）／該検討のその後[KF16・NC17・BFA13・BFA16] • 監査指導員の活用（“名ばかり”も）[HHN18] |
| 広報 | | <ul style="list-style-type: none"> • 対象が会長関与案件に偏向，他地域の扱いも平等に（例：JOTA）[BIB22・LDY22] • 広報大使：選定理由など[EUJ19] • Radio JARL.com：目的・手法・水戸への交通費など[EUJ19] |
| 100周年 | 方針 | <ul style="list-style-type: none"> • 早期準備着手で[JNA22] • 「1年前倒し」の解消（“90周年を迎える1年”を繰り返さない）[JNA22] |
| | 行事案 | <ul style="list-style-type: none"> • 祝賀式[JNA22] • 記念誌[JNA22] • 記念局[JNA22] • 記念アワード[JNA22] • DXペディション（例：Scarborough・Pratas・南鳥島）[JNA22] • YOTAとの連携[JNA22] |

| 理事 | | |
|------------|------------|---|
| 選任 | 否決 | <ul style="list-style-type: none"> 多くの会員が選んだ候補を，少数の社員が否決[DBQ13・FVX14・HIC15・STY13・WFM13・CBH21] 制度上，半端[OJO17] 再発防止[GXU13・VQA13(締切後着)・VQA14] 見直し検討の有無・内容・目標時期[BCE14・HBF21] 理事は選挙で即選任に（推薦理事・推薦監事は社員総会の決議）[HIC12] |
| | 投票法 | <ul style="list-style-type: none"> 対象者のグループ分け：(1)投票で当選・(2)無投票当選・(3)理事会推薦[GXU12] 記名投票化（写真撮影）[GXU14・WFM14] |
| | 条件 | <ul style="list-style-type: none"> 学歴・経歴の提示の理由[GXU12] 役員の資格等の，選挙管理委員会・理事会による確認（一般社団・一般財団法人法65条）／「反社会勢力と無関係」の旨の確認／利益相反関係の呈示（とくにJARDとの兼任者）[GXU14] |
| | 候補者についての情報 | <ul style="list-style-type: none"> 公開不足：実績・考え方，理事会での各理事の意見・賛否行動（略歴・職業ではなく）[DND22] |
| | 任期 | <ul style="list-style-type: none"> 退任前の社員が次期の理事を選任：「新社員が新理事を選任」に[DBQ13] 旧理事会の予算で新理事会が執行：地方本部理事2期連続，理事は2年ごと半数改選などを[GXU14] |
| 推薦理事・監事 | | <ul style="list-style-type: none"> 選考過程（基準）～期待[AAA16・WFM14] 謝罪：伏見氏推薦取りやめ～総会での虚偽答弁[HBF19] |
| ただし書き地方本部長 | | <ul style="list-style-type: none"> 理事会への出席（地方本部・支部運営に支障）[ARW16・EEH21] |
| スキル | | <ul style="list-style-type: none"> 一アマの取得：記念局運用時の自由度[OEP16] 会員・役員の教育[CCD19] もっと運用を[CBH22] |
| 理事会 | | <ul style="list-style-type: none"> 総務省への要望は理事会承認を経て[MYB20] 理事会内の意思疎通を[FFN20] Hamvention（米）・Ham Radio（独）との日程競合回避[WTL18・WTL19] |
| 会長 | | <ul style="list-style-type: none"> 貴重な会費と認識し執行を（飲食）[CBH21] 交際費は公金，オープンに[CBH22] 「会長OBは80歳超で名誉会員に社員総会に提案」に[ARW18・ARW22] （JG1KTCは）従わない者への拒絶があからさま[HNN18] |

| 参与 | | |
|----|--|---|
| 選任 | | <ul style="list-style-type: none"> 高齢すぎ～順繰りな入れ替え（次世代の育成）を[WTL15] 「経営」に強い方を[WTL15] |

| 社員総会（1/2） | | |
|-----------|--|---|
| 公開 | | <ul style="list-style-type: none"> 速記録の復活（代替策案：理事者側回答の作成配布）[HBF22・MUY22] 公開：映像・音声[BIB22・HBF22] インターネット中継（手が足りないならボランティアで）[CBH22・HBF22・RTS16・RVM21・WTL16・WTL17・XKH21・XKH22] |

| 社員総会 (2/2) | | |
|------------|--|--|
| 運営 | 事前 | <ul style="list-style-type: none"> 準備書面への書面回答を、議決権行使書の期限前に[EEH20] 議案に「その他」がない（一般にはあり）[WDL20] 『議決権行使書』用紙の、事務局以外からの配布の差し止め[DSN20] |
| | 当日全般 | <ul style="list-style-type: none"> 議長の公正なふるまい[HBf19] 質問終了の確認ののちに打ち切りを[HBf21] 関連質問の許容（つぎの質問者に回り、結果、関連質問できず）[HBf21] 社員総会での個別決議が、議事運営規程に優先[BIB21] |
| | 当日採決 | <ul style="list-style-type: none"> 明確化、事後検証の可能化[EEH19・HBf19] 議決権行使書、委任・被委任のトレーサビリティ確保・公開[HBf20・HBf21] 「投票」で（無記名、三つの投票箱〔賛成・反対・保留棄権〕、立ち会い）[HBf20・HBf21] 議場閉鎖と、議決権の員数確認～議決権総数と有効投票総数の整合確認[HBf20・HBf21] 投票箱の同時開票[HBf20] |
| 準備書面 | <ul style="list-style-type: none"> 事前に書面で質問～事前に書面で回答に[HBf16・EEH21] まずい引用の制限～事務局による削除許可／提出者による個人情報記述の回避／ガイドライン作成・ひな形化[OEP16・OEP17・OEP18] 改竄禁止、もしするなら該当法令の条文・役職氏名の記載[ETK21] | |
| 傍聴者 | <ul style="list-style-type: none"> 傍聴者の資料閲覧時の電子化[DBQ13] | |

| 選挙制度 | | |
|------|--|--|
| 全般 | <ul style="list-style-type: none"> 紙公報の配布[LDY22] 現選挙制度に対する認識／それを検討する専門委員会の要否[HBf16] 投票用紙の返送先の、別宛先化[DFJ20・HBf21] 《2022年実施》 局免切れ会員への投票用紙送付～再集計の可能性[EJ20] 周知：Webのトピックスでも「選挙の告示」と[HBf16] 投票率の低さ～認識・向上策[NMT20・PTK12・WFM13・WTL15] 無投票当選者の所信の公表[WTL22] 公報様式の見直し：広さ・区切り[LDY22・WTL22] | |
| 社員 | 公報 | <ul style="list-style-type: none"> 記載（紙幅）拡充（オンラインなのだから可）[NMT20] 投票／無投票での、当選者の個人情報開示の格差 <ul style="list-style-type: none"> ○投票のエリア…インターネット上に暴かれ ○無投票のエリア…なにもなし[WTL15] 公報の様式規定の簡素化（：印字位置合わせが負担）[WTL18] 公報への顔写真掲載[HNN18] |
| | 制度全般 | <ul style="list-style-type: none"> 定数配分：1票の格差（20名→31.5名が適正）[WTL22] 定数配分：「融通した先のエリア」で枠未達～ならば枠を関東に戻せ[WTL15] 「支部ごと選出」の目的：支部長と社員とでは「ふさわしさ」は相違[WFM13] |

| 会員増 | | |
|----------|-----|---|
| 勧誘 施策 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・期待する [OEP14] ・予算投入で会員増強を [THO18] ・会員増強策／減少の歯止め策 [ANO18・EEH18・LFV17] ・「現会員引き留め」よりも「新規入会者増」の重視を [FFN22] ・局数減対策 [HHN18] ・施策と成果との、コストパフォーマンスレシオ [AAA18・WTL18] ・“2022年の壁”対応（旧スプリアス規格機利用者の脱落防止） [WTL19] 《実態として延期》 ・広範囲への呼びかけの依頼 [MUY19] ・効果検証：会員増強コスト（費用対効果の分析を）、お試し入会後の継続率、非継続時の理由調査 [MYB20・EEH21] ・効果検証：会員期間延長のコスト [MYB20] ・局数が増えない要因の検証（対策不足・方向性の誤りなら、会長・専務理事に責） [HBF20] ・「正員」増にむけての総括 [DND22] |
| | 対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・カムバック組（相談受け・勧誘強化） [STY14・HHN18・MUY20・CBH21] ・新規開局者への近隣登録クラブの案内 [HHN18] ・青少年 [STY14・CBH21] ・ドローン愛好家、その際の語り方 [EUJ17・WTL17] ・ラインセンスフリー愛好者 [CCD19] |
| | 訴求法 | <ul style="list-style-type: none"> ・アマチュア無線への勧誘策の見直し、毎年同じことの繰り返し～抜本的・有効な対策 [PTK12・BFA13・WTL16] ・「連絡に便利」ではなく「アマチュア無線でしかできないこと」で [EUJ17] |
| | 制度 | <ul style="list-style-type: none"> ・SWLお試し入会の年齢制限緩和 [THO17] ・安価な新会員制度 [IOT17] 《キャンペーンあり》 |
| 広報 案 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・イベントでの講演 [DSN15] ・会員による広報（結果により表彰） [MUY20] ・『JARL NEWS』余剰バックナンバーのPR配布 [DSN15] ・Webでの紹介（NHKマサカメTVのARISSスクールコンタクト、防災関連活動）《動画コンテンツ（ただしオリジナル）を用意》 [DSN15] ・特集記事：高齢化で設備を撤去しても、小さな設備でも続けられる [DSN19] ・ビギナーむけWeb記事は、ビギナーの監修を [FEH22] |
| | 動画 | <ul style="list-style-type: none"> ・YouTuber（インフルエンサー）との連携 [THO17] ・様々なモード・通信、活動、実運用 [MUY20] ・外国語での交信例（外国語教員の誘引） [THO18・THO19] |

| 青少年育成 | |
|------------------|---|
| 全般 | <ul style="list-style-type: none"> • 初心者ガイド・支援する仕組み[XKH22] • 講習：技術・ステップアップ[MUY19・RVM21] • イベント参加者へのお試し入会の勧誘：体験局・ARISSスクールコンタクト[MUY22] • お試し入会后、継続しなかった人（62%）からの理由聴取[HCL18] • 効果的施策で（いまは成果が感じられない）[HBF21] |
| 他団体連携 | <ul style="list-style-type: none"> • ボーイスカウト日本連盟「以外」[LDY21] • 「若年層による企画」への協賛[DFJ20] |
| 広報 | <ul style="list-style-type: none"> • 連盟の局による啓発[BTS16・WTL16] • 少年雑誌への広告[FFN16] • 活動紹介用DVD[FEH22] • 子供が集まる場所での展示・運用[HNN18] |
| コンテスト | <ul style="list-style-type: none"> • 部門新設：シングルOPジュニア[RVM21] • 賞状：下位まで発行[RVM21] |
| 経済的支援 | <ul style="list-style-type: none"> • 次世代育成施策（含 予算付与）[EEH20・HCL16] • 助成継続[FEH22] • ハムフェア：引率の先生の入場料 [MUY19] • アワード：申請費用 [RNL20] • ARDF：学校団体・青少年の参加者[DFJ20] • 体験用機材貸し出し[RVM21] |
| 条件緩和 | <ul style="list-style-type: none"> • 『学校クラブ』の代表者・連絡者：「会員」はおろか「ハム」の先生すら、もはや希少[WTL17] • 助成条件：登録クラブ化→学校長推薦[THO17] |
| 子供の日 8J1RL交信 | <ul style="list-style-type: none"> • 体験運用扱いによる交信機会増を[PHW22] • JA1RL絶対優先も、「コンディションが悪い場合」の対処法を[EUJ18] |
| WAKAMON Oイベント | <ul style="list-style-type: none"> • 東京以外での開催[EEH19・HCL19] • 効果検証[EEH19・DFJ20] • JARD連携[EEH19] • 開催意義：ハムフェアへの組み込みでの削減額[EEH20] • 訴求法：景品よりも、実験研鑽の機会を[DFJ20] • 意見募集：時期・内容[RVM21] |

| 会員サービス | | |
|------------|--|---|
| そもそも論 | <ul style="list-style-type: none"> 「会員メリット」を考えよ[JOK16・VQA15] 会員数維持のための施策（赤字によるサービス低下の危惧） [JOK16] 非会員との格差付けを [MUY19・MUY20・MUY21] | |
| 具体的施策案 | 免許申請支援 | <ul style="list-style-type: none"> 再免許手続き支援（無料で） [HIC16] デジタルモードの申請の雛形の提供[EUJ19] 局免切れ前に通知[EEH21] |
| | 学習支援 | <ul style="list-style-type: none"> 資格取得後の（知識の）フォローアップ[OEP16] 上級資格セミナー・受講費用の割引[FEH22] |
| | 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 問い合わせ・相談の受付窓口（旧 技術研究所 相当） [XKH22] 業務時間の拡大[HNN19] 週末の窓口対応（会員増強施策としても；月1回でも） [BTS16・HHN18・LWP12・WTL16] |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> 終活支援（互助会）：リグ・アンテナの融通[MUY22] アプリ（会員なら無料） [DSN21] |
| 登録クラブ | <ul style="list-style-type: none"> クラブ規程との齟齬：連盟の周知事項が優先して受けられていない[RTS15・WTL15・WTL19] | |
| 会員在籍表彰 | <ul style="list-style-type: none"> 「会費非納入のライフメンバー」も対象に[RTS22・WTL22] | |
| JARL NEWS | <ul style="list-style-type: none"> 情報交換の場の設定（あげます・ください） [DSN17] テキストデータの可読化（障害者対応，点字版の代替） [PHW22] | |
| コンテスト | <ul style="list-style-type: none"> デジタルモードの追加（D-STAR以外も） [KCW16・LKB18] Twitterなどの利用の禁止化[WTL16] 新設（ローカル/マラソン） [DFJ19] | |
| アワード | 新設 | <ul style="list-style-type: none"> 新アワードによる活性化（既存アワードの“上がり組”対策） [KCW16] |
| | LoTW活用 | <ul style="list-style-type: none"> JARLのアワードの発行（JCC/JCGほか） [DND20・DND22・HCL17・HCL18・HCL19・HCL20・VQA18] 要件からのRSTの削除（LoTW対応に必要） [JQF21・JQF22] 《「自身手元のログからRSTを補完」の代替策呈示》 |
| ARDF | <ul style="list-style-type: none"> 他団体への運営委託[NC17] 入門への契機に[KCW17] ARDFへの支援を[ANO19・DSN19] | |
| ハムフェア女性無料 | <ul style="list-style-type: none"> 効果測定[CCD18] 近年ではむしろ「ジェンダー平等」のうごき[WTL22] | |
| モールス電信技能認定 | <ul style="list-style-type: none"> 英文併記（海外での免許申請時のCWスキルの証明書に） [WTL19] | |

| QSL | | |
|------|--|---|
| 遅延 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 認識・要因・周知を・半年会員には期間中に未着[WTL22] ・ お試し入会会員あての優先を[BAT22] ・ 対処予算の増額を[WTL22] ・ 転送安定化を[PHW22・RTS22] | |
| 電子化 | 進め方 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 手法・計画・早期実現・実現時期の明確化[EEH19・ETK22・HCL19・IKD19・LDY22・PHW19] ・ 事業性評価[DFJ19・EUJ19・WTL19] ・ 会員の声に耳を（期待，目的，電子版導入，紙版・電子版二重運用に伴うコスト増）[ETK22・MYB20・PHW18・PHW20・PHW21・PHW22] ・ 会員の利用環境の調査の有/無[MYB20] |
| | 機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 照合機能の実装，アワード発行とのリンク[AAA16・CFA17・DFJ20・HCL16・HCL17・KCW16・QH16・RTS14・WTL16] ・ LoTWへの連携（全世界のアワードに通用）[HNN18] |
| | 既存活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存システムの活用を[CBH22・DSN22・EUJ20] ・ 答申差し戻し（#49理事会）～再検討も，すでにHamlogが電子QSLシステムを構築[PHW20] ・ hQSLの活用を[CBH21・PHW2・WTL22] ・ hQSLの取り込み（非会員の排除を維持）[PHW22] |
| 総量削減 | コンテストで | <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事会は「電子QSLの推進」を理由に否決；一方で電子QSLの推進も否決（矛盾&本来は別の議論）[HBF20] ・ 会員/非会員でコンテストナンバーを分離[MUY20・MUY21] |
| | 一般 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員むけキャンペーン：複数QSO記載・コンテストでの交換自粛・記念局は自局宛送付不要・必要ならPSE QSL明記[CBH22・LXU22] ・ “スパムQSL”対策[QH16・WTL15] ・ IARUの「不要・不達のQSLカードの削減」への対応[DFJ20・WTL20] ・ カード所持不要なアワード化[LXU22] ・ SDGs（森林資源保護）の視点を：800本台/年に相当[LXU22] ・ 非会員検索の改善（不達QSLの削減）[DSN20] |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 転送コスト減[LXU22・OIN18] ・ ビューロー存続のための施策[CFA17] ・ スキャンによる保存の許容（現状，アワードの異議申し立てに備え原紙の保存要）[WTL15] ・ 「記念局あて」などの廃棄（負荷軽減，本来できないはずの「via個人コール」での到着あり）[DSN18] ・ 「会費値下げ+QSL転送従量制」に：「半数の転送なし会員」vs「一部の1000~1500枚/月の会員」[DSN18] | |

| Web活用 | | |
|-------|--------------|---|
| 全般 | | <ul style="list-style-type: none"> 改善：わかりやすく・迅速に（コンテスト結果を『トピックス』側でも告知／社員総会の開催周知）[HHN18・JNA16・WTL17] 陳腐化と乱雑さの解消[WTL18] 非常通信発生などの通達：Web更新の即応性の確保[LDY22・OEP16・WTL16] PDF資料は文字抽出可に（アクセシビリティの確保）[WTL21] 動画コンテンツ強化（電鍵はわかりやすさからは縦振れ，ワクワク感（RSG比），効果測定，出演希望者公募）[EUJ17] jarl.com割当容量増（現状5MB）[WTL15] 支部などによる外部サイトの巻き取り：(1)セキュリティ面・(2)情報の散逸防止・(3)支部役員交代時の継承性[WTL15] URLの短縮[WTL18] 『電子版JARL NEWS』全バックナンバーの「Flash」からの移行（取りこぼし号あり）[WTL20] |
| コンテンツ | 連盟の情報（一般） | <ul style="list-style-type: none"> 専門委員会の状況報告[DSN17] 未掲載の規定類（例：地方本部組織運営規定）[WTL22] 非常通信体制図（最新）[MUY22] JARLのロゴデータ[VQA15] 会員証のPDF化・アプリ化[EEH17] 《会員手帳はPDF化済み》 コンテストにむけてのカウントダウン（開始まで・終了まで）[EUJ18] |
| | 連盟の情報（定量データ） | <ul style="list-style-type: none"> 歴代コンテスト結果[AXB16] ARDF大会などの結果[JNA16] 会員数[JNA16] |
| | 一般の情報 | <ul style="list-style-type: none"> 違反の具体的内容（総発表の補足で法令遵守を啓蒙）[EUJ17] 電波障害対策（リンク集）[DSN16] デジタルモードの諸元[JNA16] 新スプリアス規格移行情報[JNA16] 海外運用（レシプロ）情報（未掲載国の記載追加など）[WTL17・WTL18] |
| | 社会貢献ガイドライン | <ul style="list-style-type: none"> 見つけにくく・長文で不明瞭[EEH22] バンドプランへのリンクを[MUY22] |
| | 双方向 | <ul style="list-style-type: none"> 局名録への掲載範囲の選択機能[EUJ19] 目安箱（意見募集，会員のみ）[DLY22] |

| 監査指導（1/2） | | |
|------------|----|--|
| 法令上問題（2/2） | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> 行政処分者の頻出の解消[OEP16] 「従免あり」でも開局手続きを取らない（摘発報道）[EUJ18] テレビ・映画などでのアマチュア無線機の問題がある使用方の解消[OEP16] アマチュア無線免許所持者を優遇する求人広告[EUJ17] デジタルモードでの使用区分逸脱[OHZ18] 不法局・違法局対策（オーバーパワー・コールサイン未送出・仕事の話）[CBH22・EUJ20・HHN19] 『不法局対策委員会』の再立ち上げを[RTS20] |

| 監査指導 (2/2) | | |
|----------------------|---------|--|
| 法令上問題 (2/2) | 免許切れ局 | <ul style="list-style-type: none"> 『無線局等情報検索』で確認できない『QSOパーティー』への参加者[WTL16] D-STARへの登録[DSN18] |
| 侵入電波 (IARU Reg. 3連携) | | <ul style="list-style-type: none"> 7.020MHz LSB 東南アジア系[EJ17] 10m帯など[RTS17] |
| 社会貢献活動 | | <ul style="list-style-type: none"> 指導法についての協議の場を[EEH21] |
| 災害対応・非常通信 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> 災害対応への貢献[EJ20] 「アマチュア局の非常通信」についての徹底 (要 従免)[EJ17] 国内での発災時の情報発信 (海外だけではなく) [WTL19] 「非常通信ネットワーク」の活動紹介[DSN20] 「非常通信規定」での表記: DV→デジタル方式 [MUY20] 非常通信のネットワークづくり (助成制度) [DSN21] |
| | 運用 | <ul style="list-style-type: none"> 非常通信時の、連盟主導での周波数の確保 (「非常通信周波数を知らない局」対策) [AAA16・MUY19] |
| | 非常通信周波数 | <ul style="list-style-type: none"> 3535kHzのはみ出し[OEP16・OEP17] 28.20MHzのJARLビーコンとのかち合い[OEP16・OEP17] |
| バンドプラン | 7M FT8 | <ul style="list-style-type: none"> 国内周波数の周知強化 (対 非会員も) [DSN22] Reg. 3 ハーモナイゼーション (意見募集・委員会諮問を) [BIB22・HBF22] |
| | 1.9M | <ul style="list-style-type: none"> 総務省見解の「可能性を制限しないため」 (全電波型式とした) についての認識[EJ20] 各国との齟齬[EJ20] 会員からの意見募集を[DFJ20] |
| | バンドプラン表 | <ul style="list-style-type: none"> 1.9M: 法令と紳士協定とが混在[DND20・EJ20] 1.9M: DXコンテスト時にはSSBでの利用幅が拡大[DND20] デジタルモード: 「慣習」の反映を[RNL20] |
| 運用そのもの | 一般 | <ul style="list-style-type: none"> 運用マナーの立て直し・向上・啓発 (ID送出・バンドプラン) [MUY19・MUY20・PFW16・THO17・WTL16] デジタルモードでの過大な電力, 過変調[OHZ18] |
| | D-STAR | <ul style="list-style-type: none"> 長時間占有などへの対策[DSN20] カーチャックへの対策: ①YLコールを指定した・②そもそも不要な[JAW22] 音声なしCQへの対策[JAW22] YLコール指定カーチャックなどへの対策[JAW22] 登録クラブ社団局は管理サーバの履歴が消えない設定で: 「アクセスポイントモードでは待ち受け不可」の問題解消[JAW22] |
| 育成 | | <ul style="list-style-type: none"> 資格取得後のフォローアップ, 自覚の植え付け[OEP15・OEP17] <ul style="list-style-type: none"> 《従事者規則改正: 知識・技術の向上を義務づけ》 上級資格取得の奨励 (会員としての定着ねらい) [KCW17・OEP15] |

| 局運営 | |
|--------|--|
| 共通 | <ul style="list-style-type: none"> ・非常時などでの遠隔操作化[WTL20] ・使用フォネティクス[EJ18] |
| 中央局 | <ul style="list-style-type: none"> ・一般会員による運用を[HNN17・HHN18・HHN19] |
| 記念局 | <ul style="list-style-type: none"> ・根本見直し：規定からの乖離（「内輪の行事」が大半と化した特別記念局）／区分のわかりにくさ・無意味さ／総通への直接申請が可[QHQ16・WTL15・WTL16] ・管理の限界（開設の周知が追いついていない）[WTL17] ・申請の締切踏み倒しの常套化[WTL15] ・Web告知の遅れ（運用開始に間に合っていない）[WTL22] ・運営ガイドラインの作成（問題ある運用あり）[LDY21] ・免許機材の嫌疑（社団局との設備共用は禁止）[OEP16・WTL15・WTL16] ・「クラブの記念局」は引き続きJARLで[KCW18] ・HQ局の建て付け：「現地社団局のコールの変更」で開設手順の簡素化[WTL15] |
| レピータ局 | <ul style="list-style-type: none"> ・D-STAR以外のデジタルモード[CCD18・CCD19・DFJ19・DFJ20・EJ18・EJ20・HHN19・IKD17・MUY20・MUY21・MUY22・OIN17・OIN18・RTS17・RTS18・RTS19・WTL16・WTL20] 《ワイヤレスネットワーク委員会で検討》 ・D-STARレピータの増[DSN21] ・1200MHz帯レピータの新設[HHN19] ・管理団体の構成員の確認（例：再免許時に提出義務づけ）[BCE15] ・意見交換の場を：連盟・管理団体・社員[MUY22] |
| ガイダンス局 | <ul style="list-style-type: none"> ・メッセージの柔軟化（「QSY先の案内」などの具体的指導）[HVO21] ・担当者名簿の整備／定期メンテナンス／メッセージの見直し／運用者の保護（保険・資格証明書など）[KF16] ・運用を[ANO19・RTS21] |
| 支部の局 | <ul style="list-style-type: none"> ・支部による無線機の管理運用（非常通信用）[MUY19] |

| システム（D=STAR） | |
|--------------|---|
| D-STAR | <ul style="list-style-type: none"> ・JARL方式/非JARL方式の一本化[RTS18] ・「最終アクセス一覧」への項目追加（日時・エリア・非常通信訓練中など）[DSN18] ・わかりやすい情報提供（D-STARニュースは難解）[DSN21] |

| 対 総務省 | | |
|------------|---|---|
| 規制緩和 | <ul style="list-style-type: none"> ・「移動する局／しない局」の一本化^[IKD19・OEP12・WTL16] 《制度改正の意見募集への総務省の反応では、電波防護面でかえって不利になると》 ・移動局の増力^[DFJ20・JNA22・WTL16] ・レピータの免許人（現状は連盟のみ）^[IKD17・WTL15・WTL22] 《制度改正の意見募集への総務省の反応では、引き続き連盟であって欲しいよう》 ・補助中継回線：現状は、(1) 29MHzレピータの送受点間リンク・(2) D-STARのアシスト局間 のみ^[WTL15] ・自局内通信：「ノード局の別免許化」を不要に^[WTL18・WTL20] 《制度改正の意見募集への総務省の反応では、ダメと》 | |
| 新スプリアス規格移行 | <ul style="list-style-type: none"> ・緩和：諸外国では例なし・業務局と同等の規格^[HBF18] 《適用期限延期中》 ・200W以下・30MHz以下なら、-50dBm→-43dBm^[HNN18] ・JARDと意見交流を（恒久的延期？）^[CBH21] ・出口戦略を（延期対象が18.8万局も）^[WTL21] | |
| 1200MHz | <ul style="list-style-type: none"> ・EME用QRO免許の維持^[LDY21] | |
| バンド拡大・新バンド | <ul style="list-style-type: none"> ・ローバンド連続解放^[HBF21] ・5MHz帯の獲得^[CBH21・CBH22・DFJ19・IKD19・WTL16・WTL20] ・1200MHz帯での引き下がりとのバーターで^[HBF18] | |
| バンドプラン | <ul style="list-style-type: none"> ・改善対応^[PHW22] ・VoIPへの割当拡大（ノード数増でQRM）^[MUY19・MUY20・MUY21・MUY22] ・非常通信周波数の規定（「DV」以外のデジタルもあり）^[MUY19・MUY21] ・5.6GHz帯でドローンの需要に対応^[WTL17] | |
| レシプロ | 双方向 | <ul style="list-style-type: none"> ・CEPT T/R 61-01締結^[IKD19・WTL17] |
| | アウトバンド | <ul style="list-style-type: none"> ・レシプロ締結先での制限緩和（例：米国での148MHzまでの許容）^[WTL17] |
| | インバンド | <ul style="list-style-type: none"> ・『アマチュア局の無線設備の操作のための登録証明書』の廃止^[WTL17] |
| 新制度 | <ul style="list-style-type: none"> ・『電波利用料』の連盟での利用（ガイダンス局の整備など）^[WTL16] ・バニティコール^[DSN16・WFM14] ・上位資格者の優遇策（資格別コールサインの導入など）^[WTL19・WTL20] ・一アマの養成課程講習会^[OEP12] ・「#」のモールス符号の制定^[XKH22] | |
| 環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・違法局対策^[RTS20・RTS21・RTS22] ・外来ノイズなどの抑止^[ANO18] | |

| 対 総務省以外 | | |
|---------------|-------------|---|
| 対 経産省 | 屋外高速 PLC | <ul style="list-style-type: none"> ・動向把握（オリンピックを契機にレギュラトリー・サンドボックス化）[NMT17・VQA17] 《実験申請時に事前の予備実験が一部で不要に@国家戦略特区》 ・協調化[NMT17] |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・イミュニティ規格・エミッション規格[HIC16] ・不要輻射問題：太陽光発電・LED[ANO19・CFA17・DSN21] |
| 対 自治体 | | <ul style="list-style-type: none"> ・アマチュア無線による社会貢献活動の啓蒙[EEH22] |
| 対 東京都 | | <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電義務化への対応[BIB22・PHW22・WTL22] |
| 対 養成課程講習会実施機関 | | <ul style="list-style-type: none"> ・時間・内容・費用の見直し：開局者の質の低下対策（コールサインを言わない、「電波利用料を返せ」とすら）[PFW16] |
| 対 日本無線協会 | | <ul style="list-style-type: none"> ・点身障者むけの受験が可であることのPR：点字（一・二アマ）、口述（三・四アマ）[EUJ18] ・三・四アマへの点字受験の追加[EUJ18] |
| 対 警察 | | <ul style="list-style-type: none"> ・猟銃の講習会・所持許可更新での周知・講話（不法無線機対策）[DSN22] |
| 対 部落解放同盟 | | <ul style="list-style-type: none"> ・賛助会費の支出の解消（インシデントから30年も経過）[WTL21] |
| 対 メーカー | | <ul style="list-style-type: none"> ・安価なリグ：青少年用に[LKC16] |
| 対 PTA | | <ul style="list-style-type: none"> ・「受験勉強への影響の危惧」の払拭[LKC16] |

| 一応の解決／一過性 (R4(2022)年 1/3) | | |
|---------------------------|---|---|
| 経営 | R3決算 | <ul style="list-style-type: none"> 収支についての認識^[DSN22] 赤字要因^[XKH22] 会長就任後3.5億円の資産減 (→年々改善成果) ^[HBF22・IKD22・WTL22] COVID-19禍による行事減が奏功した支出減 (→COVID-19の要因ではなく収支改善) ^[BIB22・HBF22] 相関性の評価：選挙費減と正員減^[LXU22] 給与水準：職員 (→中小企業比で少) ^[CBH22] 給与水準：専務理事 (→予算決算どおり) ^[CBH22] 地方本部費の適正化 (削減) 感謝 (繰越金増・COVID-19による行事減の反映) ^[MUY22] |
| | R4予算 | <ul style="list-style-type: none"> 収支見合いの黒字予算を (→ここ数年で大幅改善) ^[IKD22] R3の特殊要因 (選挙なし・局名録あり) を踏まえれば、R4は悪化^[IKD22] 電子QSL関連の予算化の有/無 (→無) ^[PHW22] |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> 会費値上げの検討の有/無 (→無) ^[LXU22] 適切会費・適切サービスのシミュレーション (→無、内部留保の活用が前提) ^[LDY22] 資金ショートしない最大額 (→8億円がなくなったとき) ^[LXU22] 収支均衡になる年 (→R3完) ^[LXU22] 一律費用削減^[LXU22] 役員報酬10%減^[LXU22] 会長への出張命令者 (→海外なら理事会、監事・理事会で監督) ^[WTL22] 支部会計のインターネット開示 (→任意・支部の実情) ^[WTL22] QSLは信書にせず、コスト減を (→運送会社の判断) ^[JQF22] 各地方本部へのリグ配備 (→体験運用用) ^[EEH22] |
| 特定資産 | <ul style="list-style-type: none"> 特定資産運用益の減少理由 (→低金利) ^[LXU22] 6期連続の特定資産評価損の理由・特定資産の内訳 ^[LXU22] 特定目的の特定資産の切り崩し (→無、講習会・保証認定に起因、ただし衛星で募金あり) ^[LDY22] | |
| 過年度決算 | <ul style="list-style-type: none"> 不適切な決算処理：TSSへの和解金は特損扱いで経常外費用とすべき^[NMT19] 《償却完》 | |
| 専務理事 | <ul style="list-style-type: none"> 報酬に見合った働きとは思えない専務理事^[HBF20・HBF21・HBF22] 《選任否決に》 | |
| 係争 | 帳簿閲覧 | <ul style="list-style-type: none"> 拒否の理由 (→拒否していない) ^[HBF22] 弁護士費用 (→必要な経費) ^[HBF22] 監事の見解^[HBF22] 顧問弁護士は会長・専務理事の個人の弁護に終始^[HBF22] |
| | 釧路根室 監査指導 | <ul style="list-style-type: none"> 釧路根室支部JM8DQXの監査指導委員としての処遇の事実・経緯 (→係争化の可能性あり回答控) ^[HBF22・PHW22・WTL22] |
| 地方本部・支部の運営 | <ul style="list-style-type: none"> 地方本部長・支部長研修会を (→経費に問題) ^[CBH22] 「監査指導委員」の規程上の位置づけ^[PHW22] 居住者以外の役員就任 (通勤者・通学者など) (→改正予定なし) ^[BIB21・BIB22] | |
| 組織 運営 | 会員管理 (幽 霊正員) | <ul style="list-style-type: none"> 正員管理 (局免確認：おもにライフメンバーの) (例：2年に1回ほど総務省のデータで確認、半月遅れで自動反映) ^[BCE15・EUJ20・WDL20・WTL16・WTL18・WTL19・WTL20・WTL22] 選挙人の正員要件 (局免生き) の確認 (監事からも是正要受、要件なき者に投票用紙を送付) ^[EEH20・HBF20・NMT20・WTL20] 遠ざかったライフメンバーは整理を (支部と分業でも) ^[CBH21] 《2021年末台帳整備隔年調査化》 |
| | 個人情報管理 | <ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護法改正対応^[BIB22] 個人情報保護管理者・費用 (→専務理事) ^[LXU22] 同 費用 (→なし) ^[LXU22] 地方本部長・支部長への会員情報の送付法 (→電磁的記録媒体) ^[LXU22] 地方本部長・支部長による管理法の監査 (→内規のみ) ^[LXU22] 指導・監査担当の役員 (→特化なし、監事) ^[LXU22] 適切な保護を (→適正運用に努力) ^[LXU22] 個人情報保護法改正対応^[BIB22] 局名録オークション出品対応 (→都度 申し入れ) ^[BIB22] |
| | 監査 | <ul style="list-style-type: none"> 「違反する重大な事実はない」「重要な点において適正」とは^[LXU22] 関東地方本部の本部長JH1XUP時代の会計精査 (翌年度予算の先食い) ^[MUY22] |

| 一応の解決／一過性 (R4(2022)年 2/3) | | | |
|---------------------------|---|---|--|
| 選挙 | <ul style="list-style-type: none"> 掲載順の抽選法 (→コンピュータ) [LXU22] 投票用紙の管理法 (→委託先) [LXU22] 還付先を委託先にした理由 (→社員総会での意見) [LXU22] 委託先の要件の定めがない (→そこの厳格化は回避) [LXU22] 還付先を委託先にした理由 (→社員総会での意見) [LXU22] 公報はWeb掲載だけで十分か (→経費節減) [LXU22] 投票用紙による投票行動のトレース (→システム出力で票数・順位のみ) [LXU22] 理事 (除 推薦理事) ・監事の、直接選挙化 (→不可, 法制度) [ETK22] 社員による会長選挙, 副会長・専務理事は会長が指名 [ETK22] | | |
| 社員総会運営 | COVID-19特有 | <ul style="list-style-type: none"> 招集案内の文面 [CBH22] 準備書面への回答なし (→緊急・例外) [EFH22] | |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> 新規当選社員の参加で (任期) (→法の制限) [CBH22] 委任状況の公開・質問終了の確認・関連質問の受付・採決法 [HBF22] 意見交換の場を設けたか (→対面なし・文書やりとり) [FFN22] | |
| 役員選任 | 全般 | 一般 | <ul style="list-style-type: none"> 意見交換を [FFN22] 赤字予算・決算の責任 [HBF22] |
| | | 人的要件 | <ul style="list-style-type: none"> 専門知識と学識経験とは [HBF22] 規則に則した監事候補の推薦 (→ハードル高い, 現状維持) [LXU22] |
| | | 前任期の運営状況 | <ul style="list-style-type: none"> 反高尾派理事候補者不選任後の状況認識 [HBF22] 「理事ではない地方本部長」3名状態での不都合 [WTL22] |
| | | 役割分担 | <ul style="list-style-type: none"> 理事間の役割分担・責任範囲 [XKH22] 同 理事ではない地方本部長 [XKH22] |
| | | 無反応 | <ul style="list-style-type: none"> 11候補者: 緊急3点 (①カード転送, ②法制度・バンドプラン改善対応, ③財政完全化) のアンケート [BIB22] 全候補: 「アワード要件からのRST削除」の要望書 (LoTW連携) [JQF22] |
| | JE1KAB | <ul style="list-style-type: none"> 役割の認識 [BIB22] 後任育成 (→組織全体として育成) [WTL22] | |
| | JG1KTC | <ul style="list-style-type: none"> 経費の使途についての反省: “打合せ”160万円/年・“豪華旅行”250万円/年 [WTL22] 不明朗な支出の返金・補填 [BIB22] 「課題解決に向けての議論のご提案」(緊急3点) に基づく協議 [BIB22] | |
| | JA6HUG | <ul style="list-style-type: none"> 選挙に際しての名簿不正利用疑惑 (→台帳はアウト, クラブ員名簿はセーフ) [JQF22] 連盟の経費による理事理事接待が“会員ファースト”なのか [WTL22] 体験局をなぜやらないのか [WTL22] | |
| | JA7AJH | <ul style="list-style-type: none"> 体験局をなぜやらないのか [WTL22] | |
| | JH8HLU | <ul style="list-style-type: none"> 体験局をなぜやらないのか (連盟以外による開設もなし) [WTL22] | |
| | JF0JYR | <ul style="list-style-type: none"> 体験局をなぜやらないのか [WTL22] | |
| | JA1MEK | <ul style="list-style-type: none"> 現執行部への監事としては不適: 2021社員総会における委任状集めにより, JG1KTC・JE1KAB・JE7JGGの否決に寄与 [BIB22] | |
| | JE7JGG | <ul style="list-style-type: none"> 青森県全市町村交信賞の賞典収入の扱い [HBF22・LXU22] | |
| 会員サービス | QSL転送 | <ul style="list-style-type: none"> 電子化の進捗 [IKD22・PHW22] 外国転送が年4回に減 (→COVID-19) [IKD22] FROMチェックの遅れの有/無・人員増の有/無・QSL送付しほし自粛依頼・委託先のバックアッププランの有/無・詳細公表 (到着枚数・発送区分ごと会員数) [BIB22] 「非会員あて」の原因分析 (→全印刷のためか, なかなか減らない) [LDY22] 体験局あてQSL転送の無料化 [BAT22] 《体験局制度, 廃止》 規程整備: 「理事会決議」の「規定類」への織り込み (転送規定にはない, ARISSスクールコンタクトのQSLカード無償転送) [WTL15] 《ARISS局制度, 廃止》 | |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> 記念品当選者の非公表化理由 (→多数) [WTL22] 記念局運営マニュアル (→事務局へ) [LDY22] 事務局の対応に感謝 [CBH22] | |

| 一応の解決／一過性 (R4(2022)年 3/3) | | |
|---------------------------|---|--|
| 広報活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・知床観光船事故でのメディア対応：問題が矮小化・誤解[BIB22・WTL22] ・新潟県沖船舶遭難事故でのメディア対応：表彰だけでなく[WTL22] ・今後もPRを：一般市民・若い世代むけ[CBH22] | |
| 会員増強 | <ul style="list-style-type: none"> ・「現会員維持」か「新規会員獲得」か（→実態，新規入会は伸びず）[FFN22] ・「一層の会員拡充」の，具体策（→知ってもらふ・取りやすく・手続き簡素化）[FFN22] ・年度途中での企画・キャンペーンの変更なきよう[FFN22] | |
| 青少年育成 | 子供の日8J1RL交信 | <ul style="list-style-type: none"> ・JA1RLだけで10分超（含 会長あいさつ）[HBF22] |
| | ARISSスクールコンタクト | <ul style="list-style-type: none"> ・QSLカード無償転送の廃止～別な形での支援：(1)「発送のみ無料」に，青少年育成の意味希薄，(2)実態が“PTAがパイルアップを楽しむ場”化，(3)転送規定になし[WTL15] 《ARISS局制度，廃止》 |
| | YOTA | <ul style="list-style-type: none"> ・日本版への考え（何をしたいか）[EUJ18・THO18] ・組織の位置づけ（内部/外部）[EUJ18] ・成果説明（見えづらい）[EUJ18・HHN18・THO18] 《別法人に》 ・Reg. 3 YOTA対応方針（→情報待ち）[LDY22] |
| ARDF | <ul style="list-style-type: none"> ・日程情報の提供が遅い[FEH22] | |
| 衛星 | <ul style="list-style-type: none"> ・協力事例：技術・情報（→日大後継機）[LDY22] | |
| 災害対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・レピータ用電源の割引（→無料貸し出しあり）[FEH22] | |
| ガイダンス局 | <ul style="list-style-type: none"> ・設備更新（新スプリアス対応・F7W対応，事務局への設置・増強・運用者の増員）[ANO18・EEH19・EEH21・EUJ17・EUJ18・EUJ19・EUJ20・FEH22・JAW22・OEP16・OEP17・PFW18・PHW20・PHW21・PHW22・WTL16] 《R6年度実施》 | |
| 電波環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤレス電力伝送の制度整備への対応[BIB22] ・新潟県沖船舶遭難事故での適法性[WTL22] | |
| 社会貢献 | <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドライン作成遅れ・作成協力者[BIB22] ・問い合わせの有/無[MUY22] | |
| 体験機会の拡大 | <ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせの有/無[MUY22] ・地方本部（関東）としての運用のなさ [MUY22] | |
| 8J1RLとのFT8 | <ul style="list-style-type: none"> ・海外扱いか？（7074kHz可？）[KCW21] 《可：JH8JNF・JH4VAJなどが各総通に確認》 | |
| オリンピック・パラリンピック記念局 | <ul style="list-style-type: none"> ・「2局/エリア」制限の案内が当初欠落[DND22] ・QSL未着[DND22] | |
| 会長の有報酬化 | <ul style="list-style-type: none"> ・会長の有報酬化（→会員の理解要）[MUY21・MUY22] | |
| 渉外 | 免許手続きの簡素化 | <ul style="list-style-type: none"> ・包括指定／免許手続きの簡素化[ARW15・ARW16・BFA16・CBH21・CBH22・EUJ18・HHN18・IKD19・OPC13・VQA16・WTL16] ・法制度改善[PHW22] 《制度改正》 |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・総務省・IARU・海外アマチュア無線団体との接触頻度[XKH22] ・パブコメ募集対応方針：WRC-23・東京都太陽光発電義務化[XKH22] ・FT8 7074kHz国内交信[BIB22] 《告示改正で2023.9以降可能に》 ・内閣府のWGへの対応が，連盟でなくYOTA-JAPAN事務局だった経緯（情けない）[WTL22] ・アドバイザーボードへの意見書の作成者（意見募集なし～要望すべき内容に欠落）（→会長）[BIB22] ・同 hamlife.jp記事（4/1掲載）削除[BIB22] ・同 今後の進行見通し[BIB22] ・東京都 太陽光パネル義務化での，泉田衆員との意見交換内容[BIB22] ・大日本猟友会への接触の有無（→無）[WTL22] ・監修誌における社員総会（2021）報道の，実態との乖離 [WTL22] |

過去の「一応の解決／一過性」事項については，各年の準備書面をご参照。

R4年pp.51-53，R3年pp.50-51，R2年pp.38-40，R1年pp.45-46，H30年pp.19-20，H29年pp.24-29。

数値の開示 ～R4(2022)年

| | |
|----|--|
| 金額 | <ul style="list-style-type: none"> ・赤字総額（新法人移行後）[MYB16] ・赤字額（H23）[GXU12] ・H28決算予想[MYB16] ・会員増強キャンペーン結果（「200万円かけて66名の増」との分析もあり）[BCE16・DOR16・JOK16・MYB16] ・ハムフェア：収支[DOR18] ・青少年お試し入会キャンペーン結果[JOK17] ・消費増税の影響[WTL15] ・『雑収入』の内訳：膨らんでいる[BFA16] ・TSS・アグレックスへの支払額[DOR14・DOR15・DOR16・VQA14] ・アグレックスへの支払額[DOR18] ・会費中のQSL転送費の割合，転送費の内訳[WFM13] ・職員の平均給与[DBQ12] ・1枚あたりQSL転送費用[CFA17] ・QSL費（7.6円/枚）の内訳[OIN18] ・電子QSL検討（なし（委員会経費のみ）@H30年度，300万円@R1年度）[PHW19] ・広報大使コスト（実費数万円）[HBF19] ・原元会長寄付金（30万円，雑収入扱い）[HBF19] ・アンテナなど保険の収入見込み[PHW20] ・局名録の支出[PHW20] ・D-STAR管理サーバ（25,000円）[MUY21] |
| 件数 | <ul style="list-style-type: none"> ・会費助成の件数[BFA12] ・賛助会員の口数の分布[ACV13] ・ハムフェア：学校登録クラブの出展料半額助成件数[DOR18] ・投票用紙の返送数[DFJ20・NMT20] ・記念局のQSLカードの発行枚数[JIX20] ・社団局分のQSLカード[JIX20] |
| 人数 | <ul style="list-style-type: none"> ・ライフメンバー移行状況，目標比[ACV15・LFV14・VQA14] ・ライフメンバーの7,200円の会員数／正員の7,200円の会員数[RTS14] ・ライフメンバー会員数[JOK16] ・ライフメンバー中のQSL転送利用者増[AXB17] ・QSLカードの発送状況・発送法[HCL16] ・QSL転送の実利用者数，うち前納会員数[WFM13] ・QSL転送を（有料で）利用する前納会員の見込み，目標達成率[DSN14・VQA13(締切後着)・WFM13] ・QSL転送の増加率・発送区分[BIB22] ・18歳未満の入会数[LFV14] ・『青少年お試し入会キャンペーン』効果（入会者数・継続率）[HHN17・RVM21] ・WAKAMONOフェア成果[DFJ20・EUJ20] ・制度変更時の退会者数[LFV14] ・会員増/減の詳細[JOK16・RTS18] ・エリアごと入会者数・退会者数[JIX20] ・入会数 vs 退会数[RTS20・RTS21] ・選挙人数[NMT20] ・職員数・賞与引当金の対象人数[DBQ12] ・正規・非正規の職員数[RTS20・RTS21] ・非正規の管理職[RTS20] ・管理職数（→6名）[RTS22] ・選挙の紙公報の希望者（→12名）[LDY22・LXU22] ・点字JARL NEWS発行数：読み上げソフトへの移行可能性（→100部/回）[PHW22] ・台帳整備結果[BIB22] ・QSL：到着枚数[BIB22] ・QSL：発送区分ごと枚数[BIB22] |